

# 〇〇もんずら



## いと 愛しい人に

系図

三木卓

ぼくがこの世にやって来た夜  
 おふくろはめちやくちやにうれしがり  
 おやじはうるたえて 質屋に走り  
 それから酒屋をたたきおこした  
 その酒を呑みおわるやいなや  
 おやじは いっしょうけんめい  
 ねじりはちまき  
 死ぬほどはたらいて その通りくたばった  
 くたばってからというもの  
 こんどは おふくろが いっしょうけんめい  
 後家の歯ざしり  
 がんばって ぼくを東京の大学に入れて  
 みんごと 卒業させた  
 ひのえうまのおふくろは ことし六〇歳  
 おやじをまいらせた 昔の美少女は  
 すごくふとって元気がいいが じつは  
 せんだつて ぼくにも娘ができた  
 女房はめちやくちやにうれしがり  
 ぼくはうるたえて 質屋へ走り  
 それから酒屋をたたきおこしたのだ

【「東京午前三時」1996年】

### けっこん

せきぐち ひでひこ（七才）

おとうさんとおかあさんと  
 れんあいけっこんしたそうや  
 おとうさんはまじめやで  
 いままでげつきゆうぶくろも  
 いったいもふうをあけずに  
 もってかえつてくれるねんて  
 おとうさんがおかあさんをすきになったのは  
 おとうさんから  
 ぼくはあなたがじんせいこうろのとうだいや  
 というてがみがきました  
 それでけっこんしたそうな  
 だからぼくはとうだいのこどもです

【「児童詩集 たいようのおなら」1980年】



写真は夏音と琴音  
(私、奥島 涼子の孫)

### 沖縄の子守歌

ティンサグーヌ ハーナヤ (ホオセンカの花は)  
 チミサキーニ スーミテ (爪の先に染まって)  
 ウヤノ ユシグトウヤ (親の教訓は)  
 チムニ スミリ。(肝に沁みる) ユラ ハラス フニ (夜、走らす船は)  
 ニヌア ミアティ、 (北極星が 頼り)  
 ワンナチュル ウヤヤ (私を生んでくれた 親は)  
 ワンドウ ミアティ。(私を目あてだ) 【沖縄の子守歌】